

5. Ⅲ, IV期子宮頸癌に対する動注併用の放射線治療

大西 洋 (山梨医大)

6. Adrenal hemangioma: a case report

Hajime Kato, Masatoki Ozaki
(Haibara General Hospital)

We reported a rare case of adrenal hemangioma in a 74-year-old male. Ultrasonography and computed tomography showed large mass with the central cystic component in the left suprarenal region.

Preoperative angiography demonstrated pooling of contrast media within the mass, suggesting a diagnosis of hemangioma. The mass was removed surgically, and diagnosed pathologically as the cavernous hemangioma of the left adrenal gland.

7. マウス骨髄増殖能と¹⁴C-methionine の骨髄集積について

今井康則, 上島久正, 吉川京燦
古賀雅久, 吉田勝哉, 村田 啓
(放医研)
岡田淳一 (成田日赤)

前回我々は全身照射したマウスに G-CSF を用い、骨髄機能と¹⁴C-methionine の骨髄集積の関係について検討した。その結果照射10日後に G-CSF によって骨髄への methionine 集積が有意に増加していることが確認された。今回はさらに照射後7日目における同様の検討を行い、G-CSF 投与による骨髄の放射能集積増加を確認した。そして以上のデータから、さらに骨髄造血幹細胞数と methionine 集積の関係を検討した。文献的に求めた照射後7日、10日の G-CSF 投与群、コントロール群の骨髄造血幹細胞数を各々の骨髄の放射能と比較した。また、マイクロオートラジオグラフィを行い¹⁴C-methionine の集積する骨髄細胞の同定を試みた。細胞当りの放射能は両日とも G-CSF 投与群の

方で高かった。マイクロオートラジオグラフィでは巨核球の細胞質に多くの methionine が集積していた。G-CSF によって骨髄造血幹細胞の分裂が促進されるだけでなく、methionine の取り込みも増幅されている可能性が示された。また、巨核球では、多くの methionine が集積したことより蛋白合成の際に多くの methionine が利用されている可能性がある。

8. 顔面形成の prefabrication の評価に骨シンチグラフィが有用であった1症例

根本和久 (船橋中央)

9. 肝脾サルコイドーシスの1例

小林信雄 (聖路加国際)

10. 超音波にて肥厚性幽門狭窄症との鑑別が可能であった異所性脾の2例

小熊栄二 (埼玉県立小児医療)

11. ^{99m}Tc-MIBI による悪性リンパ腫の化学療法への反応の予測の可能性

太田正志 (千大)

化学療法前の悪性リンパ腫の患者8例(初発6例, 再発2例; 男性5例, 女性3例)に^{99m}Tc-MIBI シンチグラフィを施行し、2cm以上の16病変につきその結果と治療効果との関係について検討した。^{99m}Tc-MIBI シンチグラフィは600-740MBq 静注20分後に早期、2時間後に後期の全身像及び病変部の SPECT 像を撮像し、集積の有無を視覚的に判定した。化学療法への反応は早期・後期とも集積を認めた14病変中12病変が CR または PR であった。早期で認めた集積が後期に消失した1病変、早期・後期とも集積を認めなかった1病変はともに CR であった。^{99m}Tc-MIBI の集積した病変の大部分で化学療法に良好な反応を示した。一方、集積を認めなかったり後期に wash-out された症例でも良好な反応が認められ、^{99m}Tc-MIBI シンチグラフィの結果と化学療法への反応は必ずしも一致しない可能性が示唆された。